

# さみどり

二宮町立一色小学校 学校だより  
平成29年度 第7号(12/22)  
発行者：校長 古正 栄司  
(一色小学校：0463-71-1543)



## 【百合が丘社会福祉協議会福祉まつり】11/26

百合が丘商店街で毎年行われている行事に、本校の5・6年生が参加しました。オープニング



・セレモニーの一つ「一色囃子保存会」の演奏にも一色小の子ども達が大勢出ていました。5・6年生は、「総合的な学習の時間」に学んだ成果を来場者に聞いてもらうスタイルの学習発表会で参加しました。左の写真のように、自分たちから声をかけて聞いていただくことはとても勇気のいる事ですが、だからこそプレゼンテーション力もつくし、コミュニケーション力も育つのです。熱心に耳を傾け、ほめてくださった方々、ありがとうございました。

## 【e ネットキャラバン】11/29

NPO情報セキュリティフォーラムから派遣された講師の方に、4・5・6年生がインターネットやSNSの現状とその留意点などについて学習しました。二宮町役場も利用していますが、今や、首相官邸でもSNSを利用した情報発信を行う時代です。よく理解して安全に利用することが大切です。ご家庭でもよろしくお祈りします。

## 【総合 学習発表会】3～6年生 11/30

学年それぞれの日程で実施していた学習発表会を、今年度は日時をそろえて実施しました。



3年生



4年生



4年生



5年生



6年生

授業時間2時間で、自分たちの発表もして他の学年の様子も全部見て回れるのは、小規模の学校ならではの取組です。学級だより等で知り、発表会にいらした保護者の方々にもとても好評でした。保護者の方(大人)向けに発表しているわけではないので、大々的に発表会に招待することは今のところ考えていません。まずは、子どもたちが集中してそれよりも、子どもたちには今、求められている様々な方法で表現する力や仲間と協働する力などを着実に育成する取組を中心に実施したいと考えています。

## 【個人面談】12/4～7

お忙しい中、また寒い中、ご来校いただきありがとうございました。普段は、電話や連絡帳などでの短いやり取りがほとんどだと思います。しかし、大切なことや自分の思いを伝えるときなどはやはり、直接顔を見てお話をすることが大事だと思っています。とは言え、後半の順番の方が終わって帰る頃には、外はもうすっかり暗くなって、「遅くまですみません。気を付けてお帰りください。」という気持ちで後ろ姿を見送らせていただきました。

伝えきれなかったことや新たな心配などありましたら、いつでも担任を訪ねて学校へおいください。



## 【12月の朝会】12/5(火)

今回のテーマは「誰もが暮らしやすい社会」。白杖の提示から始め、視覚障がいがある方々への接し方、音声や触覚で暮らしを便利にしている施設・設備の紹介などをしました。4年生は、2学期の学習と重なるところがあったので、特に一生懸命聞いていました。点字ブロックを発明したのは日本人だということは、意外と知っている子が少なかったです。バリアフリーやユニバーサルデザインなど、身の周りの何気ない所に様々な工夫があります。家族での散歩やお出かけの際に、お子さんと一緒に探してみてください。もしかすると、「こんな工夫もできるよ。」など、そこから人類初の発明が生まれることがあるかも知れませんね。



## 【二宮高校演劇部による交通安全劇】 12/18



ここ数年、毎年この時期に町内の小学校を巡回して、「安全な自転車の乗り方・歩き方」について教えてくれています。1・2年生は、動物小学校の先生と児童の会話にくぎ付けでした。帰り際に高校生が、「少しでも交通事故が減ったらうれしいです。」と語っていたのがとても印象的でした。

## 【4年生 福祉体験学習】 12/19

11月に、4年生が緑が丘にある介護老人福祉施設「メゾン・二宮」を訪問し、福祉や老人介護などについて学習してきましたが、今回はメゾン・二宮から職員が9名も来てくださり、車いすや介護の体験学習を行っていただきました。

左の写真は、寝たきりの人に靴下を履かせたり、上着を着せたりする体験です。する側もされる側も、無理なく安心してできるコツや心構えを教えてくださいました。



たくさんの車いすやマットは全て施設側で用意していただいたので、2クラス同時に、待ち時間もほとんどなく、子どもたちはいろいろな体験をすることができました。

### ◆4年生Aさんのノートから◆

**今日、服を着させてもらって、すごく考えて、難しそうだなと思って、それを毎日やるしょく員さんは大変なんだなとすごくわかりました。お年寄りも、やっもら側だけど、こわかったりしないのかな..**

### ◆4年生Bさんのノートから◆

**..メゾン二宮の人の、骨折をふせぎたいという心を持ってはたらくことが大切だというのが勉強になりました..**

座学ではなく、体験を通したからこそ実感を伴ってわかることはたくさんあります。また、プロの姿を見ることは、「キャリア教育」そのものです。その仕事のプロが子どもたちの目の前で生き生きと熱く語る。その姿を見て、自分もその仕事をやってみたいと思う子が一人でもいたら、学習協力者の方も「来た甲斐があった」と喜んでくださるに違いありません。

## 【図書委員会】

11月29日(水)昼休み。「これから、体育館で図書委員会による劇が行われる」との校内放送がありました。えっ...図書委員が劇?聞き間違い??? 演劇クラブじゃないの? あれっ、演劇クラブなんてあった??? 何はともあれ体育館へ行き、床に座っていると、あれあれ、出てきたのはやはり図書委員の子ども達です。



実は、読書啓発活動の一環でした。それぞれが役になり切って演じているので、思わず見入ってしまいました。途中、クイズ形式になっていて、観客を飽きさせない工夫もありました。

また、右の写真のように本の読み聞かせもしてくれました。図書委員会の劇は、私にとって新鮮で楽しかったです。図書委員の願いかなって、本に親しんでくれる人が増えるといいですね。



## 【コミュニティ・スクール化に向けて】

この他にも、19日(火)には公益社団法人平塚法人会の方々による6年生対象の租税教室がありました。また、20日(水)には、湘南ベルマーレのコーチによる6年生対象のサッカー教室などがありました。時々、「コミュニティ・スクールになったら、地域の方々や関係団体の教育力を生かした学校づくりが推進されるようになるんですね。」と言われることがありますが、この紙面でもお伝えしているように、実は既に、かなりの頻度で協力していただいているのです。4月から突然、何かが大きく変わることはないと思います。が、これまで以上に学校のことをお伝えする努力や工夫をしようと思います。その結果、学校にもっと関心を持っていただき、「学校と一緒に子どもたちを育てる」という意識がさらに高まるといいな、と思っています。



末筆ではありますが、どうぞ良いお年をお迎えください。